

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	・入居者の介護度が要介護3から要介護5と重度化し、1人の職員が一般浴槽で入浴・移動介助をすることが困難になり、2人の介護員を要する方が年々増えている。 ・6・7名がシャワー浴対応しており、入居者はもちろん職員の負担が大きくなっている。	・入居者の皆さんがゆっくり安心して入浴することができる。 ・介護職員の介護負担を軽減する。	・中小企業労働環境向上助成金(介護福祉機器等助成)を利用して介護福祉機器を導入し、機器の使用の徹底を図る為の研修を行う。 ・身体的負担軽減の為の研修、ラジオ体操を毎日行う。	8月に助成金の計画書を申請しリフト付きシャワーキャリーを導入して目標を達成し、2月導入効果報告書提出予定。
2	48	・入居者の介護度が重度化し認知症が進んできて楽しみごとの支援が難しい。	・音楽で「脳トレ」脳の活性化を図る。	・有線放送、カラオケ機器取り付け、希望を聞いたりしながら音楽を流す。また、職員と一緒にカラオケを楽しむ。 ・ラジオ体操を行うとき入居者も一緒にコミュニケーションをとりながら行う。	目標を達成している。
3					
4					
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。